

令和元年度 第1回富里市図書館協議会 会議録

富里市立図書館

- 1 期 日 令和元年7月10日(水)  
開会 午後3時00分  
閉会 午後4時20分
- 2 場 所 富里市立図書館研修会議室3
- 3 出席委員 会 長 高 安 輝 司  
副 会 長 高 橋 正 名  
委 員 秋 葉 利 恵  
委 員 永 井 茜  
委 員 阿 部 伸 子  
委 員 中 澤 厚 子  
委 員 渡 邊 義 幸  
委 員 長 谷 円
- 4 出席職員 教 育 長 國 本 與 一  
図 書 館 長 早 川 広 見  
図 書 館 岩 館 宗 栄  
図 書 館 伊 藤 玲 子  
図 書 館 小 倉 康 志

令和元年 7 月 19 日

署名人 秋葉 利恵 

署名人 永井 茜 

1 開会

【事務局】令和元年度第1回富里市図書館協議会を開会する。

2 あいさつ

【教育長】あいさつ

3 辞令交付

教育長から委員に辞令が交付された。

4 会長及び副会長の選任

会長に高安輝司委員，副会長に高橋正名委員が選任された。

5 議事録署名人の指名

秋葉利恵委員と永井茜委員が指名された。

6 協議事項

【会長】（1）の平成30年度図書館事業報告について説明を願う。

【事務局】配布資料に基づき説明する。

【会長】質問や意見があればお願いします。

【委員】各種数値を示しているが，その数値が前年と比べてどうか。または，目標と比べてどうかなどのコメントを合わせて説明してもらえるとわかりやすい。

図書館は頑張っていると思う。例えば，とみさとふれあい講座などは回数も人数も増えている。

【事務局】数字が比較できない資料で失礼した。教育プランの中でも概ね目標数はクリアーしている状況である。今後は資料作成を工夫したい。

【会長】数値は確実に伸びているという認識でよいか。

【事務局】そのように捉えてよい。

【会長】今後は，資料の工夫をお願いします。については承認でよいか。

【委員】全員賛成

【会長】全員の賛成で承認する。

【会長】（2）の令和元年度図書館事業について説明を願う。

【事務局】配布資料に基づき説明する。

【会長】質問や意見があればお願いします。

【委員】コンピュータの撤去とあるが機器リースの更新時期か。

【事務局】更新時期である。

【委員】図書館は、乳幼児から高齢者まで利用するが、どこに重点を置いてサービスを展開するかを意識しなければならない。

富里市立図書館は、開館以来児童サービスに非常に力を入れている。特に学校図書館と市立図書館の連携については、形を変えながら継承している。

国でも図書館学校図書館振興室が設置され、今後はさらに学校図書館と市立図書館の連携が推進される。

一方で人生100年時代と言われシニア層の利用もどんどん増えていく。

超高齢社会の中で図書館がどんな機能を持つのかを考えてサービスを提供していく必要がある。交流の場を増やすとの説明もありそれもいいと思う。

例えば、朝起きて初めて話すのが図書館の職員であった。他にはどこにもつながりがない人もいる。

図書館は、交流の場でもあり社会との接点でもあると思う。

図書館だよりも読み聞かせボランティア「もりのなか」と書架整理ボランティアが特集されており、情報発信の仕方もよいと思う。

シニアの方もボランティアをして元気に生き生きと暮らすことで次の世代にもつながる社会づくりが展開できれば良いのでぜひ進めてほしい。

【委員】ブックトリップにチャレンジする児童、生徒は増えている。団体貸出等もあり図書館には感謝する。

今後も児童担当を中心に図書館と連携を図っていきたい。

【委員】図書館に寄ってから帰宅する子どももいる。それは生徒にとって大切な場所になっている。

【委員】幼稚園には絵本があまりないので、本に触れ合う場として学校図書室、市民図書室は助かっていた。よむよむ便は助かっている。

【委員】もりのなかも会員の減少と高齢化があり、新規会員の募集をしたい。

予算の関係でブックスタート時に配布していた絵本の配布がなくなってしまうのは喜ばれていたのが大変に残念である。

小学校へ出張おはなし会に行っているが、教育内容の変更からか以前より時間が短くなってしまったことが残念である。

【委員】 もりのなかのボランティアは、図書館で講習を受講したものが会員に入れるのか。

【事務局】 講習の受講後にお願いしている。

【委員】 読み聞かせのボランティアをしたいという意向があっても受講後になると敷居が高い。

【会長】 インターネットの撤去とあるがW i - F i の環境はどうなっているか。

【事務局】 従来からW i - F i に対応している。

【会長】 ニーズは確実に増えるであろう。については承認でよいか。

【委員】 全員賛成

【会長】 全員の賛成で承認する。

【会長】 (3) の浩養小学校市民図書室の閉室について説明を願う。

【事務局】 配布資料に基づき説明する。

【会長】 質問や意見があればお願いします。

【委員】 水曜日と金曜日の昼休みは、学校図書室と市民図書室の扉を開放している。浩養幼稚園児が月に2回程度来室して本を借りる場合がある。また、小学生が園児と触れ合う機会も少ないがあった。

園児は、学校図書室も市民図書室も使っている。

【会長】 市民図書室が閉室になった場合、園児が継続して学校図書室を使える可能性は高いと思う。

【委員】 現在も学校図書室は、園児の利用が可となっているため継続されると思う。

【委員】 市民図書室の管理運営は学校ではないですね。

【事務局】 市民図書室の管理運営は、図書館である。

【委員】 人的な配置や図書は図書館であり、財産的にもメンテナンス的にも図書館でよいか。

【事務局】 市民図書室内のパソコン等は、図書館の管理であり、電気や水、警備等は学校とは分離されていないと思われる。

【委員】 閉室した場合に補助金等の問題はないのか。

【事務局】 学校施設を学校以外の目的に使うのであれば、補助金等の返還の対象となるが今回の場合は、元々の使用が市民図書室であり、学校の授業で使用する施設ではないため返還の対象外と思われるが再度、担当課に確認する。

【委員】 学校との協議は進めているとのことだが、例えば幼稚園との協議

がなかった。

また、開室した時には、地域の声があつての市民図書室が設置されたと思う。手順的には大丈夫なのかと思った。

【事務局】閉室については、大きな事案であることから、この協議会での決定とは考えていない。

諮問機関としての協議会の意見を踏まえ教育委員会議や議会への説明も必要と考えております。

【会長】地域住民の意向も確認すべきとの委員の意見である。

【委員】資料14ページでは、「令和3年3月31日をもって閉室することを協議する。」とあり、結論が決まっているように書かれている。そうすると後々いやだと思った。

【事務局】協議していただくのに結論ありきの資料表記は失礼であった。

また、地域住民の意見については、判断するうえで大変に重要であると認識している。

【会長】地域住民の意見を大事にしてほしい旨の諮問となる。

【委員】図書館として正式に設置されたものではなく、学校開放の一環で図書館が関わっているため施設としては、学校であると思われる。

市民図書室の利用増に非常に取組み、活性化の努力をしても1日平均が7.6人で学校関係の子どもたち以外が月に5から6人では、税金で運営していることから考えると閉室はやむを得ないと思う。

ただし、幼稚園や小学校の利用の形態があるのであれば、子どもの読書活動の推進をしていることから考えるべきである。

閉室になることで不便になる人、サービスの低下があるとまずいと思うので、人的資源を本館に集中し、サービスの低下が起こらないようにすべきである。

高齢者が増える。また、障害者が図書館を利用することを想定した対応を富里市立図書館として進める必要があると考える。

読書バリアフリー法が成立し、今後は自治体でも計画を策定する責務が生じてくる。

法は、あらゆる障害がある人が読書できる環境を整えることが趣旨である。

富里市立図書館は、点字図書は置いているが障害者に対するサービスには取組めていない状況である。

人的資源の集中により、障害者に対する新たな対応ができればいいと思う。

【会長】閉室によりサービスの低下にならないように本館で新たな取り組みをお願いしたい。

【事務局】市民図書室の位置づけを改めて確認したい。集中して運営しなければならない状況もあるので関係各位と協議したい。

【会長】他に意見はないか。

【教育長】浩養小学校には、市民図書室の他に地域の方も利用できる会議室的な部屋がある。

これは学校を設計するときの地域との交流というコンセプトである。図書館の思いとしては、閉室だと思うが、実際はハードルが高い部分があると懸念は持っている。そのため、委員の皆様から多様な意見をもらえると参考になる。

浩養小学校設計時のコンセプトに係ることから、私を含めた教育委員は慎重に考えざるを得ない。

【会長】地域に開かれた学校であるとのコンセプトがあったとのことである。

【委員】市内の学校でも珍しい施設なので、閉室は残念な気持ちもする。園児が図書館カードを作り、卒園後も図書に関わることができるとの思いで利用を始めたものである。

学校や幼稚園以外の利用者が少ないとのことだが園児も大きくなって地域住民となり、未来につながる。

園児数も地域住民も減る中で市民図書室の利用者減は仕方がないと思う。

【会長】閉室後の利用についても決定はまだにしても方向があればありがたい。

【委員】子どもたちに本に親しんで欲しいとの気持ちはあるが、財政状況が厳しい中、月に5から6人の利用者のために年額30万円の経費を考えると難しいと思う。

【会長】（4）のその他はあるか。

【事務局】事務局からはない。

## 7 閉会

【事務局】令和元年度第1回富里市図書館協議会を閉会する。